

[お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料\(5/30\)](#)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス等発表資料（5月30日(月) 午後3時00分）

●避難人員 3,776人

町内 3,387人(3日前より15人減)※避難所:32箇所

町外 389人(3日前より変わらず)※避難所:5箇所

計 3,776人(3日前より15人減)※避難所:37箇所

●集団避難 2,299人(3日前より42人増)

●昨日現在で

搬入遺体数 519体(3日前より変わらず)

うち身元確認済み 409体(3日前より変わらず)

●公立志津川病院の開院について

6月1日(水)から公立志津川病院の入院施設を、登米市よねやま診療所において再開設いたします。

病床は39床を確保しております。

なお、6月1日午前9時、よねやま診療所において開院式を開催することといたしております。

●災害弔慰金の申請受付について

明後日、6月1日(水)から災害弔慰金の申請受付を開始します。

災害弔慰金は、この度の東日本大震災により亡くなられた町民のご遺族に対して支給するものです。受付期間は6月1日(水)から10月31日(月)までとなっております。

あらためて、お亡くなりになりました方々のご遺族の皆様にお悔やみを申し上げさせていただきます。

●民主党政調査会長の玄葉光一郎氏へ要望書の提出について

5月28日(土)に玄葉光一郎、民主党政調査会長が、本庁の被害状況、復興状況を視察にまいられ、その際に、本町からは、「東日本大震災からの復興に向けた要望書」をお渡しいたしました。

要望した内容は、

- ・震災復興特区の創設
- ・復興に係る財源確保の明確化
- ・公共・公用施設再建への財政支援

- ・産業再生に係る現在債務の免責制度の創設
- ・津波浸水区域の国有地化と集団移転事業の国の直轄事業化

の5項目であります。

玄葉政策調査会長からは、

「要望を持ち帰り、国をあげて対応したい。出来る限り要望が実現するように検討をしたい。」とお話があり、本町としては、政府、国家として、早急に対応していただけるように、これからも声をあげていきたいと思っております。

●町内の暴風雨の影響について

本日、暴風雨の影響によりまして、午前8時56分から歌津地域は一部を除く全域、志津川地域の一部で停電いたしております。

同じく、暴風雨の影響により、国道45号線の水尻橋が通行止めとなっておりますが、12時25分に通行止めは解除されました。

●義援金の受付額について

昨日現在、町で受付しました義援金の額が、4億9193万6033円になっております。

本当に多額の義援金を寄せていただき、ご支援いただいた皆様へは、心より感謝申し上げます。

●長期応援派遣職員の内示について

本日、6月1日付の長期応援派遣職員の内示を発表しました。

震災復興推進課、保健福祉課、建設課の各課で計7名の受入れであります。

宮城県、兵庫県、西宮市、川崎市、登米市から優秀な職員を派遣いただき感謝申し上げます。必ずや力となってもらえると、信じております。

なお、辞令交付式は6月1日(水)午後4時より行います。

●質疑応答

とくになし

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/27)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料（5月27日(金) 午後3時00分）

本日は町長が不在のため、副町長の私が会見させていただきます。

●避難人員 3,791人

町内 3,402人(3日前より325人減)※避難所:33箇所

町外 389人(3日前より1人減)※避難所:5箇所

計 3,791人(3日前より326人減)※避難所:38箇所

●集団避難 2,257人(3日前より変わらず)

●昨日現在で

搬入遺体数 519体(3日前より1体増)

うち身元確認済み 409体(3日前より4体増)

●ふるさと納税の受入再開について

東日本大震災以降中止していた、ふるさと納税の受入について、本日27日金曜日から再開いたしました。

寄附の申出書については、町のホームページからダウンロードすることができます。

なお、これまで寄附者の方にお礼として、南三陸町の特産品を贈答しておりましたが、当面の間は見合わせるようになっております。

全国の多くの方々から、ふるさと納税を活用して、南三陸町への支援をお願いしたいと思っております。

●震災復興計画策定会議について

昨日、平成23年第4回臨時会を開催し、その後、南三陸町議会震災対策特別委員会の席上、これまでの復旧・復興対応や、震災復興計画の策定に向けての考え方などを議員各位に説明いたしました。

その際、当局からは6月10日(金)に第1回目の震災復興計画策定会議を開催すること、また、計画の素案について、9月をめどに策定すること等を説明しております。

なお会議においては、各分野における有識者から復興計画に向けた提言やご意見を伺うとともに、7月中には町民会議を立ち上げ、地区懇談会などを通して、町民の方々の意見についても可能な限り取り上げ、実効性のある計画を策定していきたいと思っております。

●義援金の支給開始について

これまでもご案内しておりました、義援金について本日、振込みをさせていただきました。
本日の振込みは5月18日(水)までに申請頂いている方が対象です。
今後、順次振込みをしていきたいと思っております。

●南三陸町福興市の開催について

明後日29日、日曜日、午前10時から午後2時まで、南三陸町福興市が志津川中学校で開催されます。先月29日、30日にも福興市を開催し、大盛況でありましたので、今回も沢山の皆様にご来場いただきたいと思っております。
町全体の復興と町民の盛り上がり、多に寄与していただいているイベントと思っておりますので、関係者の皆様に対し、この場をお借りして感謝を申し上げます。

●質疑応答

(記者)水道復旧への一番の障害は何でしょうか

(副町長)ハード面の問題が大きい。給水管の配置も必要である。
塩分濃度の問題にしても、すぐの解決は難しい。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/24)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス等発表資料（5月24日(火) 午後3時00分）

●避難人員 4,117人

町内 3,727人(4日前より25人増)※避難所:33箇所

町外 390人(4日前より12人減)※避難所:5箇所

計 4,117人(4日前より13人増)※避難所:38箇所

●集団避難 2,257人(4日前より変わらず)

●昨日現在で

搬入遺体数 518体(4日前より3体増)

うち身元確認済み 405体(4日前より変わらず)

●チリ地震津波の発生から51年目となります

本日、5月24日(火)は昭和35年(1960年)に発生した、チリ地震津波から51年目の節目の日であります。

例年、5月24日には、町民参加による地震津波防災訓練を実施いたしておりましたが、本年は東日本大震災への対応に専念する必要があり、訓練は行いませんでした。本日、午前の連絡調整会議において、チリ地震津波の被災者の方々の御霊(みたま)に黙禱を捧げさせていただきました。

今後においても、東日本大震災による津波被害とともに、チリ地震津波の被害についても風化をさせないようにしていきたいと思っております。

●保育の再開について

震災発生以降これまで、保護者の皆様方には、大変ご心配をおかけしておりましたが、志津川保育所、伊里前保育所、及び名足保育園を6月10日(金)から再開する運びとなりました。

昨日、5月23日(月)には保育再開に向けた保護者説明会を実施いたしております。

なお、戸倉保育所については、町全体の復興状況に応じて、いずれは再建をいたしたいと思っておりますが、現在のところ、その時期については未定であります。

●義援金の支給開始時期について

大変お待たせしておりました義援金の振込について、その振込開始時期が決定いたしました。
5月18日(水)までに申請をいただいた方については、27日(金)にお振込させていただく予定であり、以降、順次振込をさせていただきます。

●臨時議会の開催等について

今月26日、木曜日の午前10時から、仮庁舎会議室にて平成23年第4回臨時会を開催いたします。

提出議案は、給与条例の一部改正、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正、南三陸町病院事業の設置に関する条例の一部改正、及び南三陸町震災復興基金条例の制定などです。

臨時会終了後、議会において、震災対策特別委員会の開催が予定されております。その席上において、これまでの町の復旧、復興対応等について、ご説明をさせていただく予定となっております。

●質疑応答

(記者)議案提出する病院について、今後どうなるのか

(町長)入院施設などは米山病院に移し、仮設庁舎には診療所を残します。

(記者)チリ地震津波から51年目ですが、これから防災計画についてどうお考えですか

(町長)ゼロベースで計画していきたい。これまでの考えにとらわれずにやっていきたい。

(記者)義援金について18日(水)までに何件の申込みがあったのか

(町長)2,691件で、町総額が約2億6500万円となっている。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/20)

プレス等発表資料（5月20日(金) 午後3時00分)

●避難人員 4,104 人

町内 3,702 人(前々日より327人減)※避難所:33箇所

町外 402 人(前々日より5人減)※避難所:5箇所

計 4,104 人(前々日より332人減)※避難所:38箇所

●集団避難 2,257 人(前々日より変わらず)

●昨日現在で

搬入遺体数 515 体(前々日より1人増)

うち身元確認済み 405 体(前々日より1人増)

●仮設住宅の申込状況について

現在、仮設住宅の申し込みを順次していただいているところでありますが、申込数が1937件(19日現在)と、罹災証明の発行数約3300戸と比べ、数に大きな開きがあるのが現状です。

申込数が想定していた件数に届かない原因は不明ですが、まだ申し込みをされていない方は、お早めにお申し込みをお願いいたします。

●山形県最上町の避難者温泉招待について

本日、山形県最上町副町長が来町されました。

最上町様には、4月22日から5月12日まで、最上町交流促進課の方が、直接避難所を訪れ、本町の避難者を対象に2泊3日の温泉旅行に招待していただいております。これまでの招待人数は422名を数えております。

4月22日～5月2日 志津川高校、志津川小学校、志津川中学校

5月2日～5月12日 ベイサイドアリーナ、歌津中学校、名足保育園、平成の森

最上町様の数々のご配慮、ご支援に対し、心より感謝を申し上げます。

●思い出探し隊の活動について

震災以来これまで、瓦礫の中に埋もれていた、写真、位牌、賞状、卒業証書などを多くのボランティア

ティアの方々に、収集、整理、洗浄を行っていただきました。

このたびようやく、その思い出の品々を、元の所有者の方々に、お戻しするための準備が整いました。

第1回目として、今月28日から6月5日の午前9時から午後3時30分まで、旧入谷中学校校舎2階で行います。

今後、第2回、第3回と継続していきたいと考えております。

なお、駐車場が狭いので、ご来場の際には、お車を乗り合わせて来場いただきたいと思います。

●来週の定例会見について

来週の定例会見は、24日火曜日と27日金曜日変更となりますので、ご注意ください。なお、時間・場所は15時からベイサイドアリーナ内で変更ありません。

●質疑応答

(記者)約3,300件の罹災証明件数と1,937件の仮設住宅の申込件数の差の原因は何でしょうか

(町長)具体的な原因は不明です。

(記者)震災以降に町外へ転出した人数と世帯数は

(町長)3月11日以降の転出人数は、今日現在で1,027人。世帯数は不明です。

(記者)宮城県の民間住宅活用の申込件数は

(町長)本日までの申込件数は118件です。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/18)

プレス等発表資料（5月18日(水) 午後3時00分）

●避難人員 4,436 人

町内 4,029 人(前々日より 259 人減)※避難所:33 箇所

町外 407 人(前々日より 2 人増)※避難所:5 箇所

計 4,436 人(前々日より 257 人減)※避難所:38 箇所

●集団避難 2,257 人(前々日より変わらず)

●昨日現在で

搬入遺体数 514 体(前々日より変わらず)

うち身元確認済み 404 体(前々日より変わらず)

●義援金の配布について

現在、義援金の配布開始時期について、出来るだけ早く開始できるように銀行と調整中であり、準備が整い次第振り込みを開始したいと思います。

住宅被害の全壊及び、大規模半壊は、生活再建支援金の申請をいただければ、改めての申請は必要ありません。

住宅被害の半壊については、昨日 17 日より受け付けを開始しました。

●イスラエル大使が来町されました

昨日の 17 日、イスラエル大使館大使が来町され、モニュメントの寄贈の話がありました。

そのモニュメント設置時期や場所については、今後検討の上で調整したいと思います。

また、イスラエル国とは、今後も様々な形で、長期の提携なども視野に入れて、友好関係を築いていきたいと思います。

イスラエル国には、これまでも医療チームの派遣など、多大なご尽力をいただいております。衷心よりお礼申し上げます。

●FM 放送開局について

予定通り、昨日 17 日、15 時に臨時災害FM放送局を開局いたしました。

今後は、広報誌の月 2 回の発行とともに、FM 放送において、よりタイムリーな行政情報、ライフラインの復旧状況などはもちろんのこと、町民に希望の灯りを与えられる情報を多く発信していきたいと思っております。

放送の開始にあたって、ご尽力いただいたすべての方々に対しまして、この場を借りて改めて御礼を申し上げます。

●「東日本大震災に係る災害応援活動に関する協定書」の締結について

ご承知の通り、南三陸町と女川町は、本年 3 月 11 日の東日本大震災により甚大な被害を受け、庁舎等自治体機能を失いました。

これまで、多くの自治体職員、ボランティアの方々の支援を受け、役場機能の復旧に努めてまいりましたが、今後においては、いよいよ町の復興に向けた機能を加速するステージに入っていくことから、このたび、宮城県栗原市及び登米市の2市、そして、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県阪神支援チーム(西宮市、宝塚市、川西市、猪名川町)との間で、災害応援活動を実施していただくための協定を締結する運びとなりました。

・支援自治体

宮城県栗原市、登米市

兵庫県阪神支援チーム(兵庫県西宮市、宝塚市、川西市、猪名川町)

・受援自治体

南三陸町、女川町

・締結式の日時及び場所

日時 平成23年5月21日(土)午前10時

場所 登米市役所

・締結に至る経過及び目的

東日本大震災で、自治体機能を失った南三陸町、女川町の要請により、宮城県栗原市、登米市そして、支援協力をしている兵庫県阪神支援チームは、相互の協力した応急対策及び復旧対策を円滑に遂行し、両町が復興へ邁進するように協力するものである。

●国道45号水尻橋の2車線仮橋工事の着手について

国土交通省が、3月11日の東日本大震災の被害により落橋していた水尻橋について、3月19日の自衛隊の仮橋で一車線を確保し、片側交互通行にて共用していました。

この度二車線確保を目的とした仮橋工事に着手する事となりました。

本日、5月18日からの着手しております。

二車線の仮橋は、水尻橋の上流側に設置します。

歩行者、自転車も通行できるようにします。

橋長:72m 幅員:10m(歩道付)

●質疑応答

(記者)協定書の締結によって、今後はどのようなになるのか。

(町長)これまでの短期間と違って、長期間での応援が可能となる。

当面の期間は年度末までであるが、状況に応じて延長なども検討したい。

また、長期間の応援となることで、町の職員として力を発揮していただけると考えている。

(記者)協定書の締結によって、応援いただけるのはどの自治体か

(町長)当初は登米市と西宮市である。

今後、復興事業が進めば、他自治体にも要請することも検討したい。

(記者)FM放送であるが、電波の届かない地域もあるようだが。

(町長)現在、電波の届かない地域の方には、ご不便をおかけしており大変申し訳ないです。

今後、電波の届くように努力をしていきたい。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/16)

プレス等発表資料（5月16日(月) 午後3時00分）

- 避難人員 4,693 人
町内 4,288 人(3 日前より 577 人減)※避難所:33 箇所
町外 405 人(3 日前より 17 人減)※避難所:5 箇所
計 4,693 人(3 日前より 594 人減)※避難所:38 箇所

- 集団避難 2,257 人(3 日前より変わらず)

- 昨日現在で
搬入遺体数 514 体(3 日前より変わらず)
うち身元確認済み 404 体(3 日前より変わらず)

- 水道の復旧状況について

本日発行の町の広報誌にも掲載していますが、水道の復旧状況について、お知らせします。
現在、本管の漏水を調査しながら、応急復旧工事を進めていますが、漏水箇所が多く、復旧に時間を要しています。
管の清掃を行いながら、生活用水として使用できる「仮通水」の工事を優先して進めております。ご不便をおかけしますが、飲料としての使用は、当分の間お待ちください。
なお、各地区の復旧状況は次のとおりです。
【志津川・入谷地区】 助作浄水場から上の山配水池に送水し、送水管と配水池の漏水調査を実施しました。現在、配水本管に配水し、管の洗浄とあわせて漏水調査を実施中です。なお、旭ヶ丘団地までは仮通水が完了しています。
【歌津地区】 伊里前浄水場から吉野沢配水池および伊里前配水池に送水し、漏水調査を実施しました。現在、石泉、港行政区の一部(長羽地区)および伊里前住宅等に仮通水が完了しています。今後は、平成の森、田の浦、石浜、名足地区への仮通水を順次予定しています。
【戸倉地区】 長清水、荒町地区に膜処理浄水施設を設置し、5 月末ごろに飲料として使用できる通水を予定しています。

- 自衛隊の引き継ぎについて

自衛隊の第 4 師団・第 40 普通科連隊が先週の土曜日で任務を終え、昨日から南東北 3 県を担当する第 6 師団・第 22 普通科連隊第 3 中隊に引き継がれています。

九州北部を担当する第4師団・第40普通科連隊は、遠方からお越しいただき、地震発生直後から2カ月余りの間、行方不明の方々の搜索、ガレキの撤去、支援物資の搬入、炊き出し、避難所の運営など、幅広い活動を行っていただきました。まさに自衛隊の「底力」を見させていただきました。町民を代表して、改めて衷心より御礼を申し上げます。

第6師団・第22普通科連隊第3中隊の皆さんにも、引き続き当町の復旧・復興のためにご尽力をいただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

● 質疑応答事項

(記者) 震災復興計画策定会議の構成メンバーは決まったか？

(町長) 9人～10人のメンバーの人選をほぼ終えた。

(記者) 町内全域の水道復旧はいつごろになるか？

(町長) 水源の被害が激しく、現段階では明確な復旧時期を申し上げることは難しい。生活用水として使用できる「仮通水」の工事を優先して進めている。

(記者) 保育所の再開については？

(町長) 6月中の再開を目途に調整している。

(記者) ガレキの撤去は、どのぐらいの期間が必要か？

(町長) 見込みを立てにくい状況である。

(記者) 住宅地の確保については？

(町長) 職住分離(事業所等と住宅地を分け、住宅地は高台へ)もひとつの考え方である。ただ、浸水区域に住宅地を設けることがすべて駄目というわけではない。震災復興計画策定会議の中でも議論いただきたい。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/13)

プレス等発表資料（5月13日(金) 午後3時00分）

- 避難人員 5,287人
町内 4,865人(前々日より283人減)※避難所:34箇所
町外 422人(前々日より2人減)※避難所:5箇所
計 5,287人(前々日より285人減)※避難所:39箇所

- 集団避難 2,257人(前々日より変わらず)

- 昨日現在で
搬入遺体数 514体(前々日より1体増)
うち身元確認済み 404体(前々日より変わらず)

- 仮設住宅の建設について

仮設住宅の新たな建設場所について、昨日に県が発表しましたので、その概要をお知らせします。

志津川地域、中瀬町の民地に16戸、
戸倉地域は、神割崎キャンプ場に31戸と水戸辺地区の民地に19戸、
歌津地域は、港地区の民地に35戸、
町外については、登米市のイオン南方店跡地に200戸、
合計301戸の建設が決まりました。

着工予定は、いずれも本日、5月13日(金)であります。

抽選は5月20日前後の予定、また、入居開始は概ね1カ月後になる見込みです。

なお、現在の仮設住宅の申込総数は、1,916世帯であり、これに対し、建設が決まっている戸数は、ただいま申し上げた301戸を含めて1,186戸であります。

現在、民地の調査を急いで進めております。敷地の造成等が整い次第、発表、着工する予定です。

- 南三陸町広報誌(災害臨時第2号)の発行について

町の広報誌(災害臨時第2号)を5月16日(月)に発行します。

掲載内容は、町役場仮庁舎で行っている業務の案内、水道の復旧状況、震災により中断していた税の申告の案内、臨時災害FM放送局の開設、歌津総合支所仮事務所の開設などです。

区長を通じた配布に合わせて、町内の各避難所については代表者の方にお渡しする予定です。
なお、広報誌は、当面の間、1日と16日の月2回、発行します。

● 臨時災害FM放送局の開設について

町では、被災者の皆さんに きめ細やかな情報をお届けするため、臨時災害FM放送局をベイサイドアリーナに開設することとなりました。

放送開始は、5月17日(火)午後3時、周波数 80.7 メガヘルツです。

主な放送内容は、町役場業務などの行政情報、ライフラインの復旧状況、ごみ収集などの生活関連情報、炊き出しや物資配給などのイベント情報ほかを予定しています。

地震発生以降、現在も、情報伝達の手段としてラジオが果たす役割はたいへん大きいと考えています。

広報誌は当面の間、月2回の発行を続けていきますが、臨時災害FM放送では、よりタイムリーな情報を発信できるものと期待しております。

● 質疑応答事項

(記者)臨時災害FM放送局のスタッフは？

(町長)町民の方を臨時職員として雇用した。(スタッフは決定済)

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/11)

プレス等発表資料（5月11日(水) 午後4時00分）

○避難人員 5,572 人

町内 5,148 人(前々日より 137 人減)※避難所:34 箇所

町外 424 人(前々日より 32 人減)※避難所:5 箇所

計 5,572 人(前々日より 169 人減)※避難所:39 箇所

○集団避難 2,257 人(前々日より 204 人増)

○昨日現在で

搬入遺体数 513 体(前々日より 3 体増)

うち身元確認済み 404 体(前々日より 1 体増)

○小・中学校の始業式および入学式について

昨日、町立のすべての小・中学校の始業式が行われました。

また、入学式は、本日、5つの小・中学校で行われ、明日も3つの小・中学校で予定されています。

私は本日、震災の影響で場所を登米市の旧善王寺小学校に移して行われた戸倉小学校および戸倉中学校の入学式に出席してまいりました。

集団避難や転出などにより、町立の小・中学校の児童・生徒の総数は 340 人ほど減少しており、寂しい思いはありますが、子どもたちの元気いっぱいの笑顔に触れて、私も少し安心いたしました。

学校の再開に向けて、ご尽力いただいたすべての方々に対しまして、この場をおかりして、改めて心から御礼を申し上げます。

○志津川中学校で開催された集会について

本日午後 2 時 45 分から志津川中学校において、「5.11 南三陸の海に思いを届けよう」と題して、地震で犠牲になられた方々を追悼する集会が開催され、私も出席してまいりました。

この集会は、これまでも町の観光事業推進に関わってきた団体が町民に呼びかけて実現したもので、地震発生時刻の午後 2 時 46 分に黙祷がささげられました。また、津波が来た時間に合わせて、志津川湾に向けて詩の朗読などが行われました。

東日本大震災の発生から2カ月を迎え、集会の挨拶の中でも述べさせていただきましたが、必ず美しい南三陸を、活気あふれる南三陸を取り戻したい、改めて復興への思いを強くしたところでもあります。

犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、町民の皆さんの健康を切に願う次第であります。

また、地震発生から本日まで、全国の方々から頂いた心温まるご支援、ご協力に衷心より感謝申し上げます。復興については非常に長い道のりでございますので、引き続いてのご支援をよろしくお願いいたします。

○休日および夜間の救急患者の診療について

公立志津川病院では、5月14日(土)から、救急の患者さんに限り、休日(土・日曜日、祝日)および夜間の診療を行います。

薬のみの受け渡しや、代理の方への薬の受け渡しは出来ませんので、ご注意ください。

なお、詳しくは、公立志津川病院(0226-46-3664)へお問い合わせください。

○質疑応答事項

(記者)地震発生から2カ月が経過したが？

(町長)あつという間の2カ月だったが、本日、志津川中学校から眼下の町を見たところ、自衛隊の皆さんなどが瓦礫の撤去に力を入れていただいたおかげで、随分と瓦礫が少なくなった。そういう部分では、2カ月という時間の経過を感じた。

(記者)復興計画の策定については？

(町長)近々に復興対策本部を立ち上げ、計画の策定を本格的にスタートさせる予定である。

(記者)集団避難の人数についてはどう思うか？

(町長)本日発表分までで2,257人である。当初は3,000人ぐらいを想定していたので、少ないと感じている。町を離れたくない、仮設住宅が当たるまで頑張って避難所にいる、といった声が聞かれる。

(記者)行方不明者の数は？

(町長)これまでに警察へ届け出があった行方不明の方は664人である。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/9)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

5月9日(月)午後3時

本日は町長が不在のため、副町長の私が会見させていただきます。

また、次回=5月11日(水)の定例会見については、町長の日程の関係で、午後4時からとさせていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●避難人員 5,741人 ※避難所:40箇所
町内 5,285人 ※避難所:35箇所
町外 456人 ※避難所:5箇所

●集団避難 2,053人

●昨日現在で

搬入遺体数 510体
うち身元確認済み 403体

●仮設住宅の建設について

仮設住宅の新たな建設着工予定について、5月7日(土)に宮城県が発表予定であり、場所や建設戸数などは、本日の定例会見で報告させていただくと、先週の金曜日に町長から申し上げました。

ところが、現段階で、まだ県が発表しておらず、今週中に発表できるように調整中との情報を得ております。よって、本件については、県が発表した後に、改めてこの場で報告させていただきたいと思っております。

●無料シャトルバスの運行について

先に発表しましたように、本日から、病院や役場への移動手段として、無料シャトルバスの運行を始めています。ルートは全部で11路線あり、ベイサイドアリーナと、町内の各地区、登米市横山などを結びます。運行本数は、各ルートについて、2~3往復となっております。

本日、公立志津川病院の診察を受けるためにベイサイドアリーナまでの往復に実際に乗車された方々からは、「自家用車を持っていないので、非常に助かる」、「タクシーに乗れば片道2千円ほど必要なので、このバスに乗って来た。これからも利用したい」、などの声が聞かれました。

運行本数が少ないことなど、不十分な点もございますが、町民の方々の移動手段が最低限、確保できたことについて嬉しく感じております。

●小・中学校の始業式および入学式について

すでにお知らせしていますように、町立の小・中学校の始業式が明日、5月10日(火)に行われます。また、入学式については、5月11日(水)と12日(木)に行われます。

なお、報道各位の取材におかれましては、事前に学校長の許可を得ていただきますように、ご

協力をお願い申し上げます。

● 質疑応答事項

(記者) 仮設住宅の水道についての考え方は？

(副町長) 当面は、給水車(受水槽)での対応となる。

(記者) 仮設住宅当選者がキャンセル(辞退)した場合の対応は？

(副町長) 抽選時には、ある程度のキャンセル(辞退)を想定して、補欠を設けており、キャンセル(辞退)が出た場合は、補欠から繰り上がり当選となる。よって、現時点では、抽選を終えた仮設住宅には「空き」は出ないように対応している。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/6)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

5月6日(金)午後3時

● 避難人員、集団避難の人数は、第三次集団避難の集計がまだ完了していませんので、来週の月曜日(5月9日)の定例会見で発表させていただけるように調整してまいります。

● 昨日現在で

搬入遺体数	508 体
うち身元確認済	400 体

● 第三次集団避難の状況について

第三次集団避難については、5月3日(火)と5日(木)に、およそ800人の方々が町内のホテルや民宿へ移られました。

町外(県内)と県外(秋田県)へ避難されるおよそ100人余りの方々の日程については、町外(県内)は5月10日(火)で決定、県外(秋田県)は5月10日(火)以降で調整中です。

● 仮設住宅の建設着工予定などについて

仮設住宅の新たな建設着工予定について、明日、(宮城)県が発表する予定になっております。場所や建設戸数などの詳細は、来週の月曜日(5月9日)の定例会見で報告させていただきます。

また、明日の午後3時から、仮設住宅の入居者を決定する第3回目の抽選会を行います。

申込世帯数は、

歌津地区…平成の森(246戸)と吉野沢団地(20戸)が、募集戸数、合わせて266戸に対して469世帯

志津川地区…志津川高校グラウンド団地、募集戸数58戸に対して867戸となっています。

入居開始日は、吉野沢団地が5月11日(水)、平成の森と志津川高校グラウンドは5月下旬になる予定です。

● 社団法人日本山岳ガイド協会が来訪されました

昨日、社団法人日本山岳ガイド協会の方々が来町されました。

その際、同協会から、南三陸町立の小・中学校の林間学校等の活動を継続的に3年間から5年間程度、支援したいとして、夏休みに小・中学校の児童・生徒を長野県や群馬県の高原リゾート地などに招きたいとのご提案をいただきました。

費用についても、日本山岳ガイド協会や支援企業グループなどで賄っていただけるとのことで、大変ありがたい、お申し出であります。

私としても、南三陸の子どもたちに北アルプスの雄大な山々を見せてやりたい、自然の中での学習を体験してもらいたいという思いはありますが、震災の影響で夏休みが短縮される可能性があり日程確保が難しいことや、町外へ避難されている方への連絡方法など、課題も多くございますので、実現可能かどうか、慎重に検討してまいります。

● 質疑応答事項

(記者) 避難所の集約に関連して、ベイサイドアリーナと志津川小学校は、5月15日(日)までに避難所を解消するとお聞きしたが、現在の避難者数と新たな避難先は？

(町長) 詳細な人数等については、後刻報告させていただきます。

以下担当課発表

(5月5日(木)18時現在)

避難者数:ベイサイドアリーナ 196人、志津川小学校 86人

新たな避難先:志津川中学校、入谷小学校、志津川高校など

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/4)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

5月4日(水)午後5時

● 避難人員、集団避難の人数は、第三次集団避難の集計が完了した後の定例会見で発表させていただきます。

● 昨日現在で

搬入遺体数	508 体
うち身元確認済	400 体

● 第三次集団避難の状況について

一昨日の会見で、927人の第三次集団避難が決定したと発表しましたが、その後、キャンセル等があり、本日正午現在、第三次集団避難の総数は918人となっております。

避難先の内訳は、町内が814人、県内は大崎市87人、登米市8人、栗原市2人、県外は、秋田県7人です。

日程は、町内については、すでに昨日、191の方が避難され、明日623の方が避難される予定です。町外(県内)は5月10日(火)、県外(秋田県)も5月10日(火)の予定です。

● 仮設住宅の申込について

5月5日(木)から12日(木)まで、仮設住宅の入居申し込みを受け付けます。

対象者は、流失や全壊・半壊などのため居住する住宅がなく、自己の資力で新たに住宅を確保することが難しい被災者で、入居は世帯単位になります。

今回、新たに着工したのは、歌津地区・伊里前小学校グラウンドの25戸、同じく歌津地区・歌津中学校グラウンドの35戸、入谷地区・入谷中学校跡地の20戸、計80戸です。

申込は、町内の各避難所にある申込用紙をお使いいただくか、仮庁舎建設課でも受け付けます。これまでの募集で、すでに歌津地区・入谷地区に申込を済ませた方は、再度の申込は不要です。

抽選は5月16日(月)の予定、また、入居は5月下旬になる見込みです。電気、水道は、入居時には供給できない場合もあります。ご了承ください。

● 兵庫県篠山市の市長が来訪されました

昨日、兵庫県篠山市から酒井隆明市長が来町されました。

市長からは、激励のお言葉とともに、篠山市の全職員から募った被災地への見舞金の一部として、80万円をいただきました。ご支援に対し、大変感謝しております。

● 東日本大震災復興構想会議について

本日、宮城県庁で東日本大震災復興構想会議が開催され、私が出席してまいりました。

● 和文化交流研究会の来訪について

明日(5月5日)、午前11時ごろに、兵庫県から和文化交流研究会の方々が来訪されます。

こどもの日に合わせて、被災地を応援するメッセージが書かれた「鯉のぼり」を寄贈していただく予定になっております。実際に当ベイサイドアリーナの玄関前で鯉のぼりをご覧いただければと考えておりますので、事前にご案内いたします。

● 質疑応答事項

(記者)東日本大震災復興構想会議では、どのような話をしたか？

(町長)まず、被災状況を報告しました。続いて、復興構想会議に対して、要望を述べました。主な内容は以下のとおりです。

- ・南三陸町などの地震・津波災害(これから復旧・復興に向かうもの)と原発問題(まだ状況が変化しているもの)を同じ土俵で議論するのはいかなものか。分けて議論する必要がある。
- ・地域産業の再生という観点に立てば、経営者はこれまでも借金を抱えている方が多く、「融資」では借金を重ねるだけであり、新しい経営は成り立たない。現在の債務の免責など大胆な措置が必要ではないか。
- ・復興対策については、スピード感を持って、財源確保の議論をしっかりと行っていただきたい。

お知らせ：東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(5/2)

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料

5月2日(月)午後3時

■避難人員 6,613人

町内避難所:40箇所、6,086人

町外避難所:5箇所、527人

■集団避難人員:1,309人

■昨日現在で

搬入遺体数 505体

うち身元確認済み 400体

■第三次集団避難の状況について

第三次の集団避難について、927人の申込があり、すべての方の避難先が決定しました。集団避難先の内訳は、町内が809人、県内は大崎市88人、登米市11人、栗原市6人、県外が、秋田県8人、山形県2人、富山県3人です。

日程は、町内が5月3日(火)及び5日(木)の2日間、町外(県内)は5月10日(火)、県外は現在調整中です。

なお、第三次集団避難者リストは各避難所に本日中に掲示します。

■義援金について

全国各地の皆様から寄せられている義援金は、4月30日現在で、4億1,693万4,775円となっております。

南三陸町復興のため、多くの方からご支援をいただき、心から感謝いたします。

■東京都足立区の区長が来訪されました

本日、東京都足立区から近藤やよい区長が来町されました。

区長からは、激励のお言葉をいただき、被災家屋調査のための職員の派遣など、継続的に支援いただけるとの申し入れがありました。

また、支援物資としまして、飲料水2リットルを420本、米を300kg、消毒液を50kg、お持ちいただきました。

多方面にわたるご支援をいただき、大変感謝しております。

■無料シャトルバスの運行について

5月9日から当分の間、病院や役場への移動手段として、無料シャトルバスを運行します。ルートは全部で11路線あり、ベイサイドアリーナと、町内の各地区、登米市横山、石巻市北上町、などを結びます。運行本数は、各ルートについて、2~3往復となっております。

なお、詳しいルートや運行ダイヤについては、後ほどお配りする資料をご覧ください。

■震災復興推進課の設置について

5月1日付で、「震災復興推進課」を設置し、専任職員3人を配置しました。

今後、他の地方公共団体の人的な支援をいただきながら、体制を強化し、スピード感をもって、町の復興に当たっていくこととしました。

当面の予定としては、6月までに基本方針を策定し、9月までに復興計画の素案を策定するよう、本日、担当課長にその期限を指示しました。

※震災復興推進課の役割…復興計画の策定及び復旧・復興事業の調整等

■質疑応答事項

(記者) 集団避難は今回の第三次で終了か？

(町長) 第三次では町内への避難も募りましたし、今回で終了の予定です。

(記者) 避難所の再編についての考え方は？

(町長) 集約が必要と考えている。第三次集団避難の終了後に避難所の再編に取り組む。

(記者) 水道復旧はどの程度進んでいますか？

(町長) 本管の破損がひどい。水質レベルとして、飲料水ではなく生活用水なら早く通水できるということであれば、そういうことも選択肢に入れて検討する必要がある。仮設住宅については、当面は給水車対応になる。